

わ

く

わ

く

7・8月号



本

だ

な



えほん
1ねんせい～



『海のぷかぷか ただよ海の生きもの』

高久至／写真 寒竹孝子／文 アリス館

イカにタコ、クラゲ、さかなのこども……。海の中には、ぷかぷかとただよいながらくらしている生きものがたくさんいます。すきとおったもの、ひかっているように見えるものなど、きれいでめずらしい生きものたちをしょうかいします。

K913 『どうぶつがっこうとくべつじゅぎょう』

トビイルツ／作・絵 PHP 研究所

がっこう
学校はにがてなことばかりで、しまうまくんはげんき
ありません。たのしいことばをつかうと、きもちやからだ
があたたかくなることをべんきょうしたしまうまくん。元気
になるための「じっけん」を思いつきます。

ものがたり
1・2ねんせい



K913 『空をけつとばせ』

升井純子／作 大島妙子／絵 講談社

ゆうと
悠斗は、さかあがりができないことを友だちに言えないま
ま夏休みをむかえました。2学期までにできなければ「うそつ
き」になってしまいます。悠斗がれんしゅう
練習していると、見たこと
のない先生が手つだってくれました。

物語
3・4年生

K913 『香菜とななつの秘密』

福田隆浩／著 講談社

香菜は聞き上手でまわりをよく見ているので、学校の「秘
密」にだれよりも早く気が付きます。ある朝、香菜が一番
早く登校すると、クラスの靴箱に見たことのない運動靴が
入っていました。香菜だけが見つけたある秘密とは……。

物語
5・6年生





えほん
1ねんせい～

『このあいだになにがあった?』
佐藤雅彦／作
ユーフラテス／作
福音館書店



えほん
1ねんせい～

『絵本江戸のまち』
太田大輔／作
講談社

えほん
1ねんせい～



『ひとりになったライオン』

夏目義一／文・絵 福音館書店

ひとりだちしたわかいライオンが、はじめてのかりにちょうせんします。えものは、ひとりぼっちのこどものシマウマです。ところが、くさむらにかくれているうちに、大きなシマウマがどんどんあつまってきたてしまいました。

ちしきの本
2年生～

K488 『^{とりす}鳥の巣つくろう』

鈴木まもる／作・絵 岩崎書店

鳥の巣は、たまごとヒナをほかの動物からまもるばしよです。鳥たちは、みぢかなざいりょうをくみあわせて巣をつくります。かれ草や木のえだをあつめて、鳥の巣づくりにちょうせんしてみましよう。



ちしきの本
4年生～

K375 『^{えがお}田んぼに畑に笑顔がいっぱい』

喜多方市小学校農業科の挑戦』

浜田尚子／文 佼成出版社

福島県喜多方市の小学校では、「農業科」というめずらしい授業があります。農家の人に教えてもらいながらイネや野菜を育て、収穫し、調理まで行うのです。喜多方の子どもたちは泥んこになりながら、楽しく農業を勉強します。

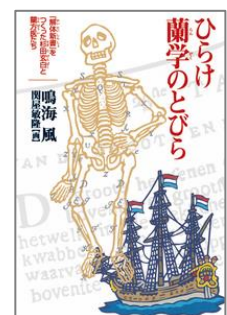


ちしきの本
5年生～

K289 『^{らんがく}ひらけ蘭学のとびら』 『^{かいたいしんしょ}解体新書』をつくった

杉田玄白と蘭方医たち』 鳴海風／著 関屋敏隆／画 岩崎書店

江戸時代、医者さえ人の体のしくみを知りませんでした。すずんだ知識を持ったオランダの医学書を、日本語にして出版したのが杉田玄白です。辞書もなく、外国へもなかなか行けない時代に、どうやって外国語を読み解いたのでしょうか。



としょかんのまどぐちには、くみたてると本になる「わくわく本だな」もあるよ。

ホームページもみてね！〈編集・発行〉富山市立図書館 富山市西町5番1号 電話 076-461-3200